

Ⅲ. 単位制度と卒業・修了要件

1. 単位制度

大学の学修はすべて「単位制」になっています。単位制とは、すべての科目に一定の単位数が定められており、その科目を履修申請して単位を修得し、定められた卒業要件単位数を満たすことで卒業・修了が認定される制度です。

(1) 単位数と学修時間

単位とは、学修量を数値で表したもので、各単位数に応じて必要な学修時間が定められています。

各授業においては、定められている単位数に見合った時間の学修を行う必要があります。学修には、教室等で行われる授業（講義／演習／実験／実習／実技）への出席による学修に加え、その科目のための予習・復習による学修が含まれます。予習・復習については、授業科目のシラバスに記載されている「準備学修（予習・復習等）の内容とそれに必要な時間」を参考に、参考書や資料等の活用、友人とのディスカッション、メディアセンターの利用などを通して、自主的に取り組む必要があります。

大学での学修は、このような自主的な学修の比重が大きいことを理解しておく必要があります。

【授業の種類】

講義：教員の解説を中心にして学ぶことを主とした授業。

演習：研究・発表・討議・活動等を行うことを主とした授業。

実験：ある理論や仮説を確認するために、実際に経験することを主とした授業。

実習：知識や技術を、実際の現場または実物を用いて学ぶことを主とした授業。

実技：技術や演技等を実際に行うことを主とした授業。

上記いずれの授業形態においても、1単位の授業科目は、45時間の学修を要する内容をもって構成することを標準とします。なお、授業形態に応じて、その教育効果および授業外に必要な学修時間（予習・復習を含む）を考慮し、標準的な授業時間数を次のとおり定めます。

① 講義／演習

15時間の授業と30時間の授業外での学修（予習・復習等。以下同じ）をもって1単位とするものと30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とするものがあります。

② 実験／実習／実技

30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とします。ただし、授業科目によっては45時間の授業をもって1単位とするものがあります。

③ 上記①及び②の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、規定する基準を考慮して定められた時間の授業と授業外の学修をもって1単位とします。

※各時限は90分で行われますが、2時間として計算します。

(2) 単位認定

授業科目に定められた単位を修得するためには、次の3つの要件を満たす必要があります。

- ① 単位の認定を受けようとする授業科目の履修申請を行うこと。
- ② 履修申請を行った授業に出席し、履修に必要な学修（予習・復習を含む）を行うこと。
- ③ 授業科目のシラバスに記載の成績評価の方法と基準に基づき、合格すること。

2. 学部の卒業要件

卒業とは、大学が定める教育課程を修了し、「学士」の学位が授与されることをいいます。その証明となるものが「卒業証書・学位記」です。

卒業するためには、大学が定める教育課程（カリキュラム）にしたがって学修を進め、所定の単位数を修得する必要があります。

(1) 卒業要件

本学を卒業するためには、次の2つの要件を満たす必要があります。

① 所定在学年数

本学の教育課程（カリキュラム）を修了するためには、4年以上在学する必要があります。

なお、休学期間は在学年数に算入されないため、休学すると卒業時期は自動的に延期されます。

② 所定単位の修得

入学年度ごとに定められている科目配置表（「IX. 各学部・研究科の科目配置表」）に基づき、科目区分ごとに定められている単位数を修得するとともに、教育課程（カリキュラム）全体で定められている卒業要件単位を修得する必要があります。

また、2026年度以降の入学生については、一部の科目を「必履修科目」としていただきますのでご注意ください。必履修科目とは、単位修得の有無にかかわらず、必ず履修申請を行わなければならない科目をいいます。

(2) 卒業の時期

卒業の時期は、毎年度末（3月）です。ただし、所属学部の教授会が必要と認めるときは、在学期間が4年以上の者について前学期終了時（9月）に卒業を認定することがあります。

3. 各学科の卒業要件単位数表

地域経営学部 地域経営学科 卒業要件単位数

科目区分		必修	必履修・選択	卒業要件	
基盤教育科目	地域協働基盤科目群	6 単位	4 単位	10 単位	
	情報科目群	2 単位	2 単位 (必履修 4 単位)	4 単位	
	汎用的学修能力育成基盤科目群	8 単位	4 単位	12 単位	
	統合知基盤科目群	—	10 単位	10 単位	
	外国語科目群	4 単位	4 単位	8 単位	
専門教育科目	専門基礎科目群	2 単位	56 単位	70 単位 *1	
	専門科目群	地域行政科目群			—
		地域産業科目群			—
		市民社会科目群			—
	卒業研究科目群	12 単位			
キャリア関連科目群	—				
他学部科目*2、教職科目*3、他大学単位互換科目				*4	
上記すべての科目（他学部科目、教職科目、他大学単位互換科目含む）から自由に選択				10 単位	
卒業要件単位 合計				124 単位	

- *1 地域行政科目群、地域産業科目群、市民社会科目群からそれぞれ6単位以上を修得すること。
また、卒業研究科目群から16単位以上を修得すること。
- *2 情報学部の専門教育科目（「IT実習A・B・C・D」「コンピュータプログラミング演習Ⅰ・Ⅱ」「地域情報実践演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ」を除く）のこと。
- *3 本誌「Ⅷ_資格取得等」に掲載している「6. 教職課程」に定める教職科目（「教育原理」を除く）のこと。
ただし、教育実習指導／教育実習Ⅰ・Ⅱ／学校体験活動／教職実践演習（中・高）は、卒業に必要な単位として認めない。
- *4 他学部科目、教職科目、他大学単位互換科目は、合計6単位を上限として卒業に必要な単位として認める。

情報学部 情報学科 卒業要件単位数

科目区分		必修	必履修・選択	卒業要件	
基盤教育科目	地域協働基盤科目群	6 単位	4 単位	10 単位	
	情報科目群	2 単位	6 単位 (必履修 8 単位)	8 単位	
	汎用的学修能力育成基盤科目群	4 単位	6 単位	10 単位	
	統合知基盤科目群	—	10 単位	10 単位	
	外国語科目群	4 単位	4 単位	8 単位	
専門教育科目	専門基礎科目群	10 単位	50 単位	72 単位 *1	
	専門科目群	数理・データサイエンストラック			—
		ICT トラック			—
		人間・社会情報学トラック			—
	卒業研究科目群	12 単位			
	キャリア関連科目群	—			
他学部科目 *2、教職科目 *3、他大学単位互換科目				*4	
上記すべての科目 (他学部科目、教職科目、他大学単位互換科目含む) から自由に選択				10 単位	
卒業要件単位 合計				128 単位	

- *1 専門基礎科目群の「微分積分Ⅰ・Ⅱ」「線形代数Ⅰ・Ⅱ」「数学演習Ⅰ・Ⅱ」から4単位以上修得すること。
- *2 地域経営学部の専門教育科目 (「プログラミングⅠ・Ⅱ」「社会調査演習Ⅰ・Ⅱ」「国際フィールドワーク」「地域協働研究A・B」「地域協働プロジェクトA・B」「卒業研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「地域キャリア実習Ⅰ・Ⅱ」「キャリアデザイン演習」を除く) のこと。
- *3 本誌「Ⅷ_資格取得等」に掲載している「6. 教職課程」に定める教職科目 (「教育原理」を除く) のこと。
ただし、教育実習指導/教育実習Ⅰ・Ⅱ/学校体験活動/教職実践演習 (中・高) は、卒業に必要な単位として認めない。
- *4 他学部科目、教職科目、他大学単位互換科目は、合計6単位を上限として卒業に必要な単位として認める。

4. 大学院の修了要件

(1) 修了要件

地域情報学研究科地域情報学専攻の修了要件は、2年以上在学し、必要な単位※を修得するとともに、所定の研究指導を受け、最終成果物である「修士論文」または「プロジェクト実践報告書」の審査に合格することです。

※ 修了に必要な単位数は、本誌掲載の「地域情報学研究科 地域情報学専攻 科目配置表」に掲載しています。

(2) 最終成果物の審査方法

成果物	審査方法
修士論文	修士論文審査を行う。修士学位論文に基づいて、主査・副査による論文審査を行う。
プロジェクト実践報告書	プロジェクト実践報告書についても、修士学位論文と同様に修士学位審査を行う。原則として、対象とした社会課題のステークホルダーが参加できる公開の場でプロジェクトの成果報告を行うことを要件とする。

(3) 最終成果物の提出スケジュール（予定）

年次	月	情報学研究コース 修士論文 【修士（情報学）】	地域情報プロジェクトコース プロジェクト報告書 【修士（学術）】
1年	4～3	1年次では以下の③点について取り組む。 ① 仮テーマと研究内容を指導教員と相談し、決定する。 ② ①に基づき、履修科目を決定する。 ③ プロジェクトおよび研究活動のためのスキルの習得、文献購読法、調査法、データ解析法などを学ぶ。1年次が終了（2～3月ごろ）するまでに、所属コース、最終成果物（論文 or 報告書）を決めておく。	
2年	4	研究テーマと所属コースの決定	
	5～8	研究活動	
	9	中間報告会	
	10～11	研究活動	
	12	下旬：報告書概要の提出	
	1～2	1月中旬：修士論文のタイトル提出 1月下旬：主査・副査への修士論文の提出 1月下旬～：修士論文の発表会 2月中旬：主査、副査による報告書の審査	1月中旬：報告書タイトル、報告書の提出 1月下旬：修士論文発表会までに、報告会を随時開催（地域の関係者に一般公開の場を設ける） 2月中旬：主査、副査による報告書の審査 報告書完成版の提出
	3		

(4) コース選択

1年次は、自らの研究・プロジェクトのテーマに関連する授業を幅広く受講します。

2年次の4月には、研究活動を重視する「情報学研究コース」、プロジェクト実践を行う「地域情報プロジェクトコース」のいずれかに所属することになります。コースの決定は希望調査により行います。コースが決定したら、下表のとおりコースに応じた授業科目を履修することとなります。

コース名	情報学研究コース	地域情報プロジェクトコース
履修科目	地域情報学特別研究Ⅰ 地域情報学特別研究Ⅱ	地域情報プロジェクト実践Ⅰ 地域情報プロジェクト実践Ⅱ
成果物	修士論文	プロジェクト実践報告書
学位	修士（情報学）	修士（学術）

※コースを選択した時点で、履修科目、成果物、目指す学位が決定します。2年次の4月に情報学研究コースを選択した場合は「地域情報学特別研究Ⅰ・Ⅱ」を、地域情報プロジェクトコースを選択した場合は「地域情報学プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ」を履修することとなります。